

要請番号 (JA24819101)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	派遣期間	派遣時期
ニカラグア	G130 柔道		個別	短期 8ヵ月	2019年12月以降

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ庁

2) 配属機関名 (日本語)

ニカラグア柔道連盟

3) 任地 (マナグア県マナグア市) JICA事務所の所在地 (マナグア市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

スポーツ庁は国民の健康増進や体育、レクリエーション、スポーツ振興、人材育成等の施策を講じる国の機関であり、特に青少年の非行防止、健全育成の手段として、スポーツや心身の鍛錬を重視する武道を推奨してきた。1984年に柔道連盟が設立され、パンアメリカ柔道連盟に加盟し、国際大会へも参加してきたが、2013年以降、組織の再編成が行われ、2016年に全国の25の道場が統括された現在の体制が整った。国内の競技人口は約2,000名、指導者約50名、審判は20名が登録されている。年間予算は約6千ドル。日本は2009年、豊などを供与した。2019秋募集にて長期JICA海外協力隊を募集。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の柔道連盟は、当初組織として脆弱で、道場間の連携などが行われてこなかったが、2013年以降、全国6県(マナグア、エステリ、マタガルパ、グラナダ、カラソ、マサヤ)にある25の道場を統括し、練習環境の整備、指導者の育成等を行うとともに、青少年の健全育成や健康の保持増進といった、柔道の普及活動にも力を入れるようになった。一方、指導者は基礎的な知識しか有しておらず、正しい技の習得、トレーニング方法等に関する知識が不足しており、指導力の向上が課題となっていたため、JICA海外協力隊が要請された。隊員の主な活動先は、首都の自治大学内で、指導者3名、練習生20名と、30名の準選抜選手が稽古を行っている道場となる。隊員には、2021年のパンアメリカ大会に照準を当てた練習計画策定に関する助言、地方道場への巡回指導等、すそ野拡大のための普及活動が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚の指導者に対して、指導法や稽古方法について紹介、アドバイスを行う。
- 2.準選抜選手に対して、指導者とともに稽古を行う(月-金、9-11時はトレーニング、15-17時は稽古)。
- 3.国際大会参加のための選手育成計画を指導者とともに策定する。
- 4.柔道の普及のための活動(イベントや演武等)を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場、トレーニング器材、スポーツ庁所有施設(トレーニング場等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

連盟長:柔道3段・20年、男性、30代。
同僚コーチ:体育教師・20年、男子、柔道3段、60代。
対象者:練習生50名(内、代表候補選手30名、男性15名、女性15名、18-21歳)。
道場数:マナグア県10、エステリ県4、マタガルパ県3、グラナダ県2、カラソ県5、マサヤ県1

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

スペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・柔道 3段以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

派遣希望時期は、2019年度2次隊と同日程。

住居は原則ホームステイとなる。

技術レベルの高さよりも、配属先の要望を聞き取り、柔軟に対応できる人材が望まれる。